# 公共施設更新問題への挑戦

- 秦野市の取組みと四国中央市の現状から-



再配置推進イメージキャラクター 「丹沢つなぐ君」

平成27年8月10日(月) 四国中央市職員研修 配付資料

秦野市政策部 公共施設再配置推進課 課長(兼)課長代理 (兼)教育部教育総務課 課長代理

志村 高史

【地方自治体公民連携 研究財団客員研究員】

# ごあいさつと秦野市の紹介





本日は、職員研修にお招きいただき、まことにありがとうございます。一歩を踏み出す勇気を持っている皆様のために、できるだけ多くの情報をお伝えできればと思いますので、1時間半ほどお付き合いをお願いいたします。今まで、ぐっすりと寝たいた方はいないので、それなりに退屈はしないと思い方はいないので、それなりに退屈はしないと思い方はいないので、途中で言葉が過ぎることがあるかもしれますが、もしかすると、はっきりとものを言う公務員としてではなく、地方自治体公司を関研究員としての言葉だと思って実に付していただければ幸いです。

秦野市は、神奈川県央西部に位置し、県下で唯一の盆地です。北部は丹沢大山国定公園に指定され、その面積は、市域の共割弱を占めます。東京から60km、横浜から37km、小田急線で新宿から60~70分です。

面積 103.61K**m 2**  人口 168,889人 (H26.4.1)

-般会計(H26当初) 466億円 職員数1,073人 (消防、水道、14 幼稚園など含む) (H26.4.1)



# 現在までの取組みの流れ①



一取組み開始~計画推進体制整備-

H21.10 H20.4 H22.6 H22.8 H22.10 H23.2 H23.3 H23.4 H23.6 専任組織設 公共施設白 検討委員会 再配置の方 再配置計画 再配置計画 庁内推進会 再配置の方 計画推進 書公表 からの提言 針案公表 針決定 素公素 決定 議設置 議会へ説明 議会への報 広報特集号 広報特集号 議会へ報告 (意見提出 発行 発行 依頼) 議会へ説明 市民意見募 教育委員会 教育委員会 議会への個 (意見提出 集 へ報告 へ説明 別説明 依頼) 地区別市政 パブリック 社会教育委 個別説明会 懇談会で説 コメント手 員会へ報告 実施 続き パブリック コメント手 続き ホームページ開設

出前講座実施 15回実施・450名参加(H27.3.31現在)

# 現在までの取組みの流れ2



#### 一計画推進体制整備後一

	4月	シンボル事業④「公民連携によるサービス充実」(障害者日中活動支援センターひまわりの民営化)完了
H24	10月	シンボル事業②「公共的機関のネットワーク活用」(保健福祉センターへの郵便局誘致と証明書交付開始)完了
年度	3 <b>月</b>	シンボル事業①「義務教育施設と地域施設の複合化」に関する民間活力導入可能性調査完了
	<b>7</b>	生涯学習施設「なでしこ会館」を廃止
H25	5 <b>月</b>	「公共施設白書(平成24年度改訂版)」を作成し、公表
年度	9月	ひばりが丘児童館廃止
十尺	2月	シンボル事業①「義務教育施設と地域施設の複合化」に関する課題解決型対話の実施
	10月	シンボル事業①「義務教育施設と地域施設の複合化」事業基本方針を公表
	11月	「公共施設の利用者負担の見直しに関する方針」を策定
H26	0	シンボル事業①「義務教育施設と地域施設の複合化」事業参加申込み受付け
年度	2月	図書無人貸出サービスに関する実証実験開始
	2 🗖	生涯学習施設「曽屋ふれあい会館」廃止
	3 <b>月</b>	「公共施設白書(平成26年度改訂版)」を作成
H27	5 <b>月</b>	シンボル事業①「義務教育施設と地域施設の複合化」事業提案受付け【中止】
年度	3月	後期実行プラン策定完了【予定】

### プロローグ



- 川之江文化センターや土居文化会館は、来年も使えるでしょうか? たぶん大丈夫です。
- 5年後、10年後はどうでしょうか? 恐らく大丈夫ではないでしょうか・・・
- では、20年後、30年後は? また、建替えはできますか? 今日ここにお集まりの皆さんの多くは、誰もが漠然と大丈夫と思っているはず です。大勢の市民が利用している施設がなくなるはずないと
- 誰かそれを保障した人はいましたか? 誰もいないはずです。市民の皆さんも、私たち公務員も、公共施設はあって当たり前、今までも何とかなってきたのだから、これからも何とかなると漠然と思い込んでいるからです。
- 今までは当然であっても、これからは当然ではなくなります。 秦野市だけが特殊なわけではありません。

世界で例を見ない経済成長を成し遂げ、 世界に例を見ないスピードで高齢化が進行するこの国で、 深刻な問題が起ころうとしています・・・

# 第一部

# その問題とは、「公共施設の更新問題」です。



- 公共施設(社会資本)の多くは、都市化の進展や経済成長とともに 集中的に整備されてきましたが、近い将来、これらの「公共施設」を 一斉に更新する時期がやってきます。
- そして、これに合わせるように高齢化と人口減少が進んで財政状況が悪化し、現状のままでは、必要性の高い公共施設まで良好な状態で保てなくなる恐れがあります。
- これが「公共施設の更新問題」です。

#### 公共施設(社会資本)

#### ハコモノ系

学校・庁舎・公民館 図書館・体育館など

#### インフラ系

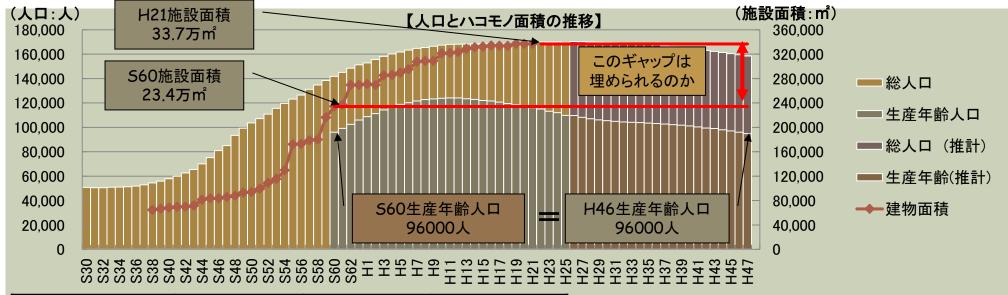
道路・上下水道など

#### プラント系

ごみ焼却場 汚水処理場など

#### 市民の皆様にはこのように説明しています① 人口減少と高齢化社会の進展





	S60(1985)	H21(2009)	H46(2034)
人口	141,803人	170,233人	159,463人
生産年齢人口	96,063人	116,120人	96,064人
高齢者人口	9,207人	32,652人	48,959人
建物面積	234,192 m <sup>2</sup>	336,747 m <sup>2</sup>	?
歳入予算規模	254億円	407億円	?

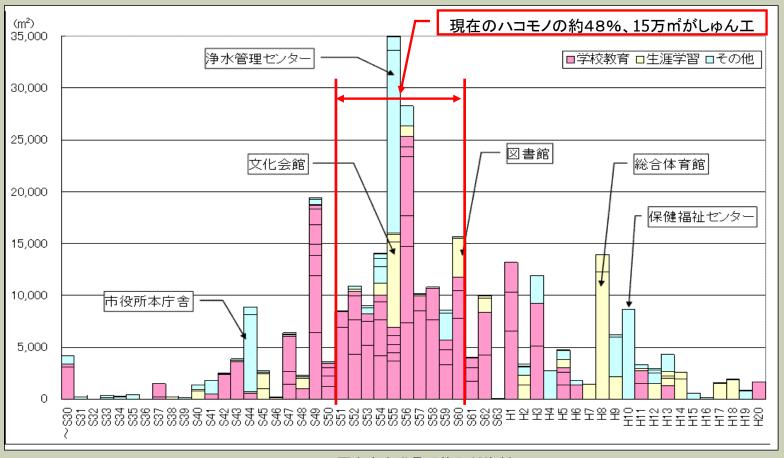
- 生産年齢人口は、<u>H46にはS60と</u> <u>同じ96,000人に減少</u>。S60頃のハ コモノは、約23.4万㎡
- 現在は約33.7万㎡で約1.4倍。加 えて、<u>高齢者と生産年齢人口の比</u> 率は、S60 1:10 → H46 1:2

# 市民の皆様にはこのように説明しています②



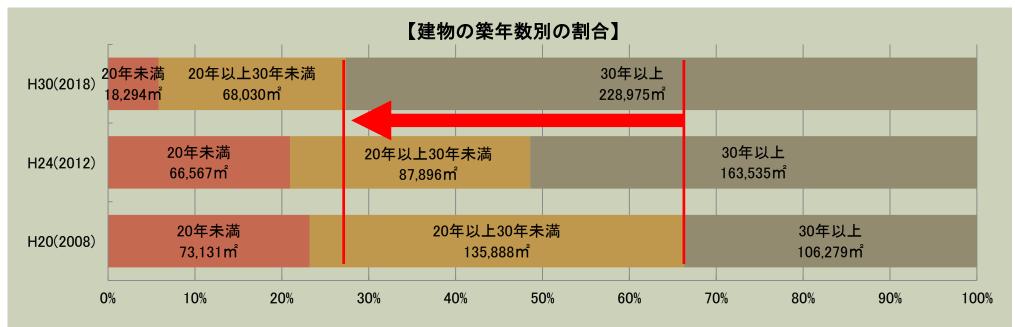
#### 建築時期の集中

- 昭和50年代に現在の建物の5割弱がしゅん工
- 昭和55年度には、1年間で現在の建物の10%強がしゅんエ



## 市民の皆様にはこのように説明しています③ 老朽化の進展

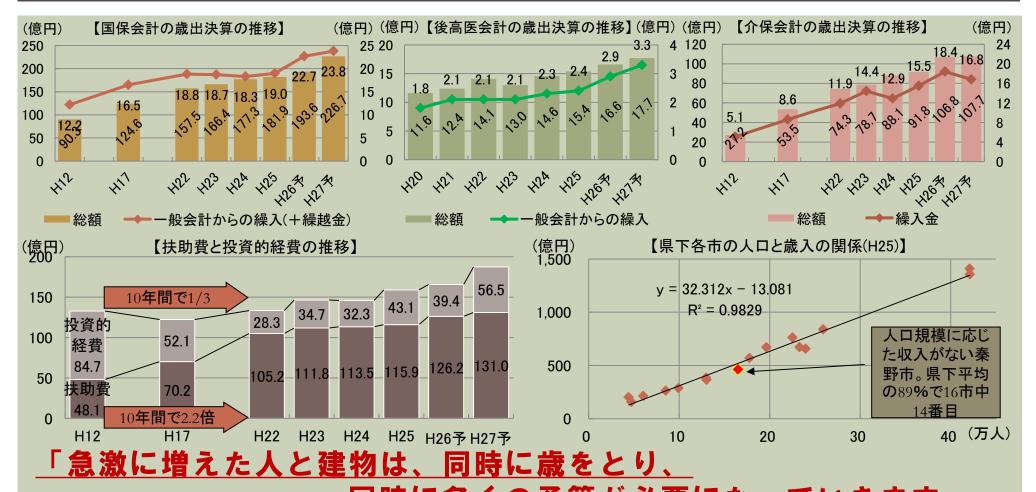




- ハコモノの77%が築20年以上、34%が30年以上(H20.4.1現在)
- <u>H24には、52%が築30年以上、H30までには、さらに20%以上の建物が築30</u> 年以上となり、70%以上の建物が老朽化して維持補修と更新費用は増大
- 東京オリンピックや大阪万博を契機に都市化した自治体は、多くの公共施設が既にこの時期に突入しているはずですが、景気低迷と財政悪化により・・・

## 市民の皆様にはこのように説明しています④ すでに始まっている超高齢社会

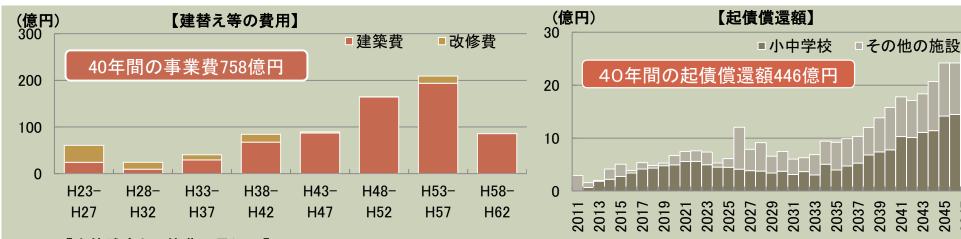


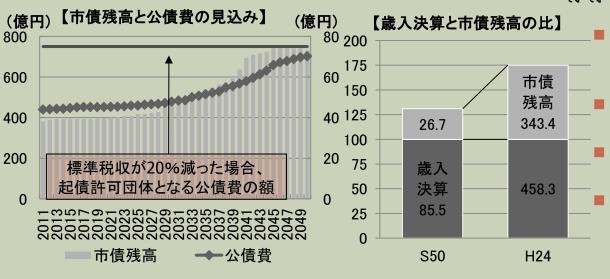


<u>同時に多くの予算が必要になっていきます。</u>

#### 市民の皆様にはこのように説明しています⑤ 増大する財政負担







2050年までの建物更新等費用は、<u>子ども</u> の減少にあわせて学校を縮小しても758 億円

市債の支払額は、40年間で446億円で、 新たに必要となる財源は346億円

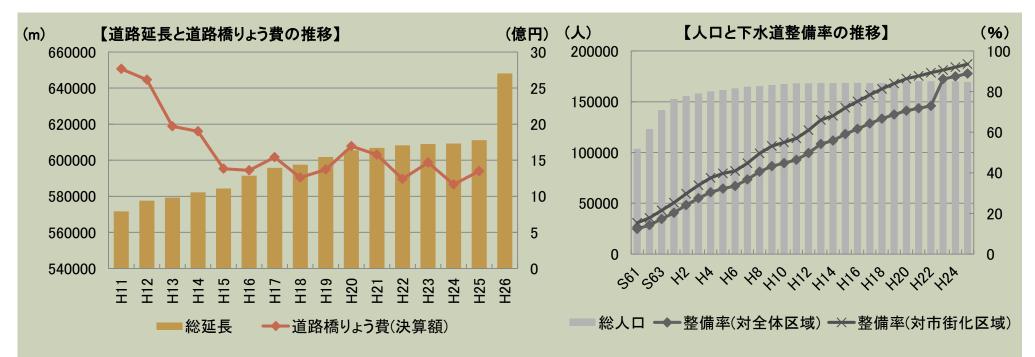
S50の市債残高は一般会計決算額の31% だが、H24は75%と負担は2.4倍

全てのハコモノを維持しようとすると、 市債残高は2倍、公債費は1.6倍となり 不健全な財政状態(起債許可団体すれす れ)となり、秦野市は、財政破綻の道

四国中央市職員研修配付資料

## 市民の皆様にはこのように説明しています⑥ もう一つの根深い問題





- ハコモノは抑制傾向にあっても、<u>増え続ける道路と下水道。ハコモノは統廃合できても道路・</u> 橋・下水道は・・・。
- 以前ある市民は、<u>「震災の後の公共施設の復旧順序を思い出すと、何を良好な状態で維持しなけ</u> ればいけないのかがよくわかる。まず道路、上下水道、次にハコモノだったら学校では。」
- ハコモノ改革で道路橋りょうの更新費用を出すという試算を行ったが、<u>義務教育施設の必要量を</u> 確保できなくなるとの結果に。問題の根深さは、ハコモノより深刻かもしれない。

# 市民の皆様にはこのように説明しています⑦ 現実になりつつある更新(老朽化)問題



年月日	事故の内容	備  考
2011.3.11	東京九段会館天井崩落	築77年•震度5強•死者2名
2011.3.11	茨城県鹿行大橋落橋	橋齢43年・震度6・死者1名
2012.12.3	中央道笹子トンネル天井崩落	築35年・ <u>地震の影響ではない・死者9名</u>



- ハコモノもインフラも、どれもみな大切な公共施設ですが、橋やトンネルの崩落は、命に直結します。
- 秦野市の管理する橋173か所(3,018m)、トンネル4か所(324m)[H23.4.1現在]
- 橋りょう長寿命化修繕計画では、<u>長寿命化を図る</u> ためには、今後50年間で27億円が必要(架け替え れば118億円)
- 道路や橋は、<u>統廃合や複合化による縮減の余地が</u>極めて小さい公共施設。それ以外のトンネルは?、道路は?、ハコモノのほうが優先する?

# 市民の皆様にはこのように説明しています8



- ■以上のことから考えると、
- ① 現在の公共施設の量を維持し続けることは不可能です。
- ② 秦野市が特殊なわけではありません。<u>全国の市町村で同じ問</u>題が起こります。
- ③ 自分たちの便利さや豊かさだけを求めて<u>結論を先送りすることは、次世代に大きな負担を押し付ける</u>ことになります。
- 秦野市は、「公共施設の更新問題」に対応するため、平成20年4月、専任組織である「公共施設再配置計画担当」を企画総務部内に設置し、「公共施設の再配置」に着手することとしました。
- 「公共施設の再配置」とは、公共施設のうち特に<u>「ハコモノ」のあり方について抜本的な見直し</u>を行う ことにより、その<u>適正な配置と効率的な管理運営を実現</u>し、将来にわたり<u>真に必要となる公共施設サー</u> ビスを持続可能なものにすることと定義しました。

# 「住民の高齢化を止めることはできません。 しかし、更新問題が起こることは、止めることができます。」

だめ 勝手ながら秦野 す



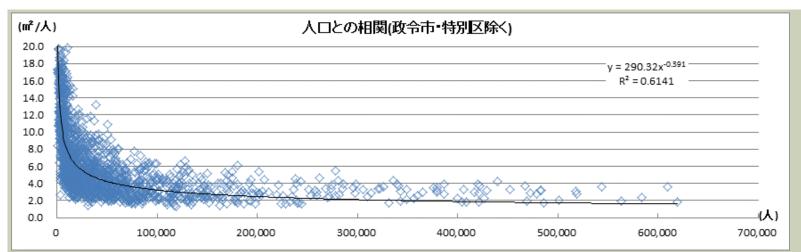
# 特別付録①

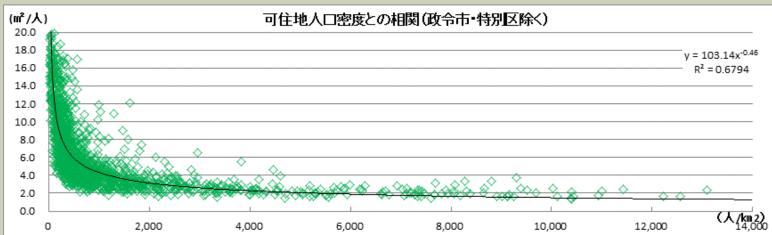
この項目では、各自治体のホームページで公表されているデータ及び公共施設状況調査(総務省)の データを用いています。また、地方自治体公民連携研究財団客員研究員としての筆者の私見であり、 秦野市の見解を示すものではありませんので、筆者の承諾なく内容を転用することはご遠慮くださ

#### 住民一人当たりのハコモノ面積と人口及び可住地人口密度との比較①

,Z

(政令市・特別区を除く1699自治体のデータから)





- ハコモノ面積は、人口や可住地人口密度との相関があります人口密度があまとが相関のほうがに)。
- 人口が少なく、 人口密度が低く なるほど、住民 一人当たりの面 積が大きくなり ます。

# 住民一人当たりのハコモノ面積と人口及び可住地人口密度との比較② (政令市・特別区を除く1699自治体のデータから)



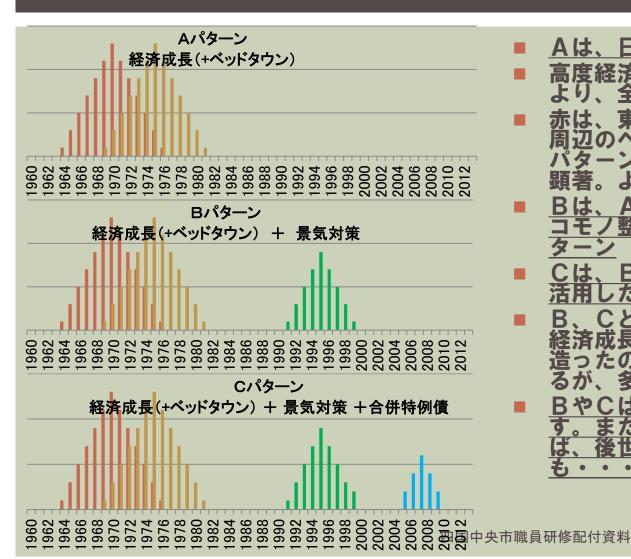
- 平均像は人口54,268人 可住地人口密度799人/km2 ハコ3,88㎡/人
- 政令市、特別区では、近似値(散布図に表れる累乗近似曲線から得られる値)より も面積が大きくなる傾向があります。
- 下表は、人口と人口密度に応じた近似値です。参考にしてください。ただし、近似値より少ないからといって安心はできません。秦野市は人口17万、人口密度は3300人/km2でハコは2.05㎡/人。どちらの比較でも近似値より少なめですが、ハコモノを3割以上削減する必要があります。これが公共施設更新問題の現実です。

	近似值	可住地人口	近似値	
人口(人)	R2=0.6141	密度(人/km2)	R2=0.6794	
10,000	7.92㎡/人	500	5.91㎡/人	
50,000	4.22㎡/人	1,000	4.30㎡/人	
100,000	3.22㎡/人	2,000	3.13㎡/人	
200,000	2.46㎡/人	3,000	2.59㎡/人	
300,000	2.10㎡/人	5,000	2.05㎡/人	
500,000	1.72㎡/人	10,000	1.49㎡/人	

# あなたの街はどのパターン?

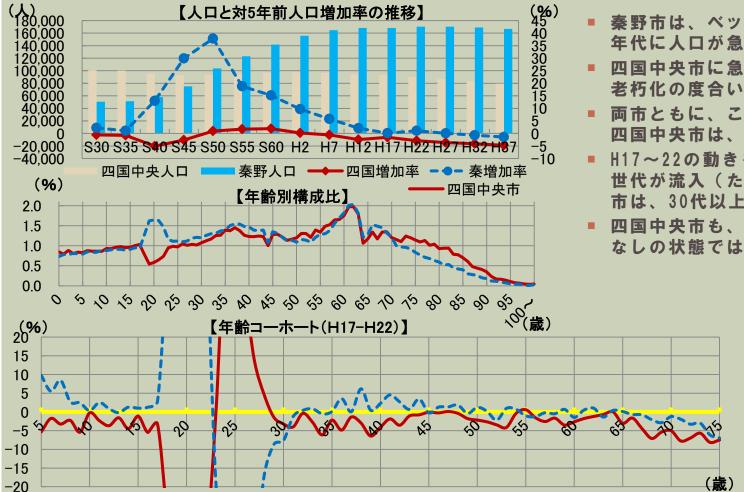


ー公共施設白書から見えてくるハコモノ整備の基本パターンー



- Aは、日本のハコモノ整備の基本パターン
- 高度経済成長から続く経済成長、人口増加により、全国で一斉にハコモノを整備
- 赤は、東京、大阪などの大都市。黄は、その周辺のベッドタウン。ただし、地方部でも赤パターンは多い。このパターンは、老朽化が顕著。より早い取り組みが必要
- Bは、Aにバブル崩壊後の景気対策によるハコモノ整備が加わったもの。地方に多いパターン
- <u>Cは、Bに平成の大合併による合併特例債を</u> 活用したハコモノ整備が加わったもの。
- B、Cともに、新たに整備したハコモノが、 経済成長期に整備したハコモノの建替えで 造ったのであれば、更新問題の症状を軽くす るが、多くは、新規整備では?
- <u>BやCは、更新問題が繰り返しやってきます。また、安易に長寿命化に頼ろうとすれば、後世代の負担をさらに重くすること</u>も・・・

# 秦野市と比べてみました①-四国中央市編-

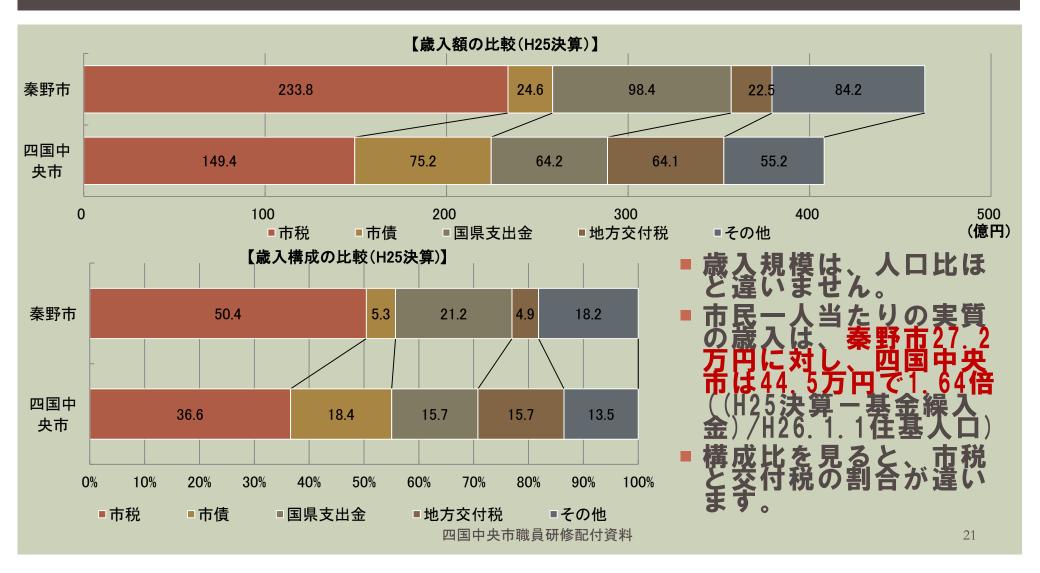


- 秦野市は、ベッドタウンとして昭和40~50 年代に人口が急増→ハコモノ建設ラッシュ
- 四国中央市に急増期は見られません。施設 老朽化の度合いはどうか?
- 両市ともに、この先は人口減少を予測。 四国中央市は、老年人口率が高い。
- H17~22の動きをみると、秦野市は、子育て世代が流入(ただし、一時的)。四国中央市は、30代以上に流出傾向が見られます。
- 四国中央市も、更新問題への対応は待った なしの状態では・・・

	秦野市	四国中央
H22国調	(対H17)	市
		(対H17)
年少人口	12.6%	13.2%
率	△ 0.5%	△ 0.9%
生産年齢	67.0%	60.7%
人口率	△ 4.1%	△ 1.5%
老年人口	20.4%	26.1%
率	4.7%	2.5%

# 秦野市と比べてみました②-四国中央市編-





# 秦野市と比べてみました③-四国中央市編-

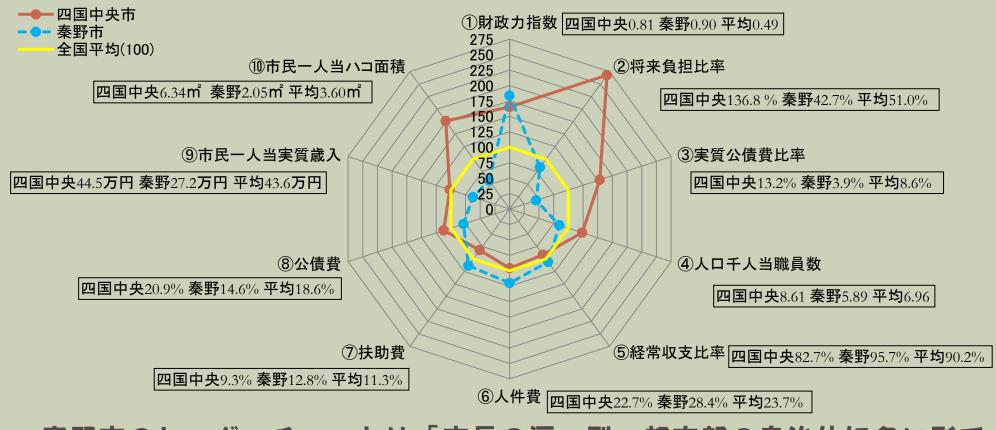


	四国中央市	秦野市
住基人口(H26. 1. 1)	91, 671人	164, 977人
可住地面積	93. 60km <sup>2</sup>	49. 26km <sup>2</sup>
可住地人口密度	979人/km²	3, 328人/km <sup>2</sup>
小学校	19	13
中学校	7	9
幼稚園	7	14
保育園	14	5
公民館	21	11
市営住宅	2, 262戸	247戸
ハコモノ(H25決算:行財)	581, 440 <b>m</b> i	337, 489 <b>m</b> ²
一人当(H26. 1. 1住基人口)	6. 34㎡/人	2. 05㎡/人
H25経常収支比率(臨財債除く)	82.7% (91.0%)	95. 7% (101. 1%)

- ■四国中央市の市民一人当たりの建物面積は、秦野市の3.1倍。市民一人当たりの歳入が1.64倍あっても、これでは秦野市以上に・・・
- ハコモノ面積は、人口と の相関に加え、行政区域 の面積とも相関が現れま す(特に学校)
- ■四国中央市の可住地人口密度は、秦野市の約30%。人口も約半数なので、多くなってしまう要素はあります。
- ■しかし、経常収支比率も 秦野市とともに90%近く なり、財政の硬直化が進 んでいます。できるだけ 早い手当が必要です。 22

# 秦野市と比べてみました④-四国中央市編-





■ 秦野市のレーダーチャートは「市長の涙」型。都市部の自治体に多い形ですが、40年間で346億円の財源不足が起きると試算し、ハコモノを31%削減する目標を立てました。四国中央市は、「豆型」。借金の比率が高い自治体に多い形です。 □国中央市職員研修配付資料 23

# 秦野市と比べてみました⑤ -四国中央市編-



■ 秦野市が全国的に見ても最低レベルであることがお解りいただけますが、その秦野市でも危機が訪れ ・ 東野市の国国のに見ても最低と残してあることがお解りいただけますが、その秦野市でも危機が訪れ

市名 項目	少なさランキング (1742自治体中)	対人口での 近似値との比較	対人口密度での近似値との比較	人口が少ないのに ハコモノが少ない 自治体	人口密度が低いの にハコモノが少な い自治体	危機度ランキング (1742自治体中)
四国中央市	1,088位	38	35	776	570	188位
秦野市	78位		(i)	40	11	1,436位

■ 近似値(※)と比べてみると・・・

秦野市が31.3%削減ということは…

住民一人当 ハコ面積	6.34㎡/人	近似值	面積差	負担差	年平均	9
人口	91,671人	3.33㎡/人	3.01㎡/人	1,103億円	18.4 ~	22.1億円
人口密度	979人/km2	4.34㎡/人	2.00㎡/人	733億円	12.2 ~	14.7億円

■ また、秦野市の財源不足(346億円/16.2万人≒21.4万円/人:策定当時)から試算する

21.4万円/人× 9.2万人× 6.34㎡ × 27.2万円/人 = 40年間で 372億円 が不足 44.5万円/人 = (40.5万円/人: 9.3億円/年)

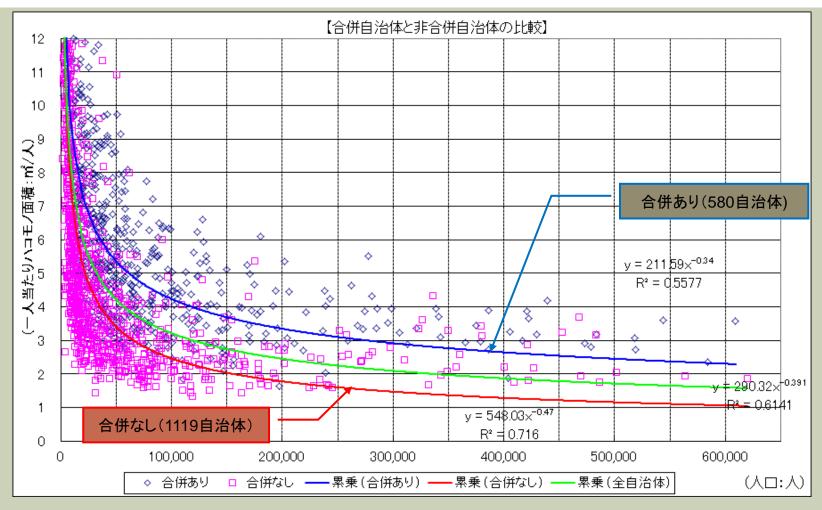
 $\frac{40.5万円/人}{21.4万円/人} \times 31.3\% = 59.2% を削減?$ 

含国地金味減が ま県方債高と、 で出や残るはに、 はの は344位が がります もの はいまがります

※ 近似値:全国の1699自治体(政令市・特別区除く)の人口及び可住地人口密度とハコモノ面積の相関を表す散布図に表れる累乗近似曲線から得られ







#### 平成の大合併をした自治体としていない自治体の比較(政令市除く)②

(政令市・特別□	፟	自治体のデー	タから)
----------	---	--------	------

順	団体名	合併数	一人当ハコ (H23)	一人当ハコ (H24)	一人当ハコ (H25)
1	上越市	14	5. 52	5. 28	5. 36
2	今治市	12	5. 29	5. 26	5. 26
3	長岡市	11	4. 47	4. 45	4. 32
4	天草市	10	6. 53	6. 49	6. 48
4	津市	10	4. 01	3. 92	3. 94
4	高山市	10	6. 43	6. 39	6. 37
4	佐渡市	10	8. 03	8. 28	8. 09
4	栗原市	10	6. 60	6. 64	6. 80
9	薩摩川内市	9	6. 40	6. 32	6. 30
9	佐伯市	9	7. 55	7. 61	7. 73
9	唐津市	9	5. 87	5. 87	5. 92
9	呉市	9	4. 54	4. 53	4. 48
9	真庭市	9	7. 40	7. 52	7. 57
9	松江市	9	4. 51	4. 52	4. 44
9	鳥取市	9	4. 76	4. 51	4. 47
9	長浜市	9	4. 82	4. 75	4. 89
9	登米市	9	5. 79	5. 92	5. 75

- では、合併した市町村

合併自治体数と対非合併人口近似値の倍数



四国中央市職員研修配付資料

#### 



- 自治体の<u>「ハコモノフルセット主義」</u>:自治体がそれぞれホール、公民館、体育館などを一通り備えてきたことを意味します。
- これらの自治体が合併した平成の大合併は、 フルセット+フルセット・・・=ダブルセット?、トリプルセット?

人口 9 万人では、

合併自治体 4.38 m<sup>2</sup>/人に対して、非合併自治体 2.57 m<sup>2</sup>/人となり、 1.80 m<sup>2</sup>/人の差 この差は、改修と更新費用負担 649 億円(年 10.8 ~ 13.0 億円)の差 (更新35万円/m<sup>2</sup>+改修5万円/m<sup>2</sup>で、50~60年使用すると仮定)

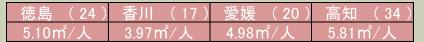
■ <u>しかし、面積を増やし続ける合併自治体。このままでは合併効果は消し飛びます。交付税の特例措置は、昨年度で終わり。何もしなくても歳入が減り始めます。</u>

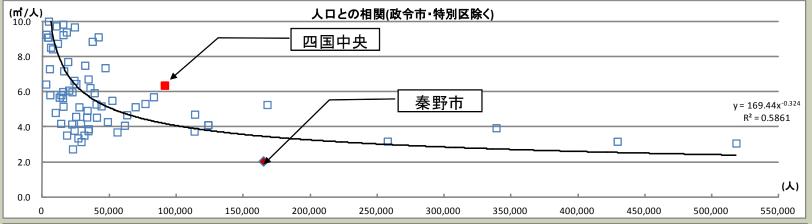
	合併自治体			非合併自治体		
	人口	ハコモノ	一人当たり	人口	ハコモノ	一人当たり
H23	45,150,491人	197,571,035 <b>m</b>	4.38 <b>㎡/人</b>	46,367,724人	158,626,512 <b>m</b> i	3.42 <b>㎡/人</b>
H24	45,419,686人	197,685,794 <b>m</b>	4.35 <b>㎡/人</b>	46,850,864人	<b>1</b> 59,679,469 <b>m</b> i	3.4 <b>1㎡/人</b>
H25	45,341,622人	198,154,798 <b>m</b>	4.37 <b>㎡/人</b>	46,859,436人	159,873,011 <b>m</b> i	3.4 <b>1㎡/人</b>

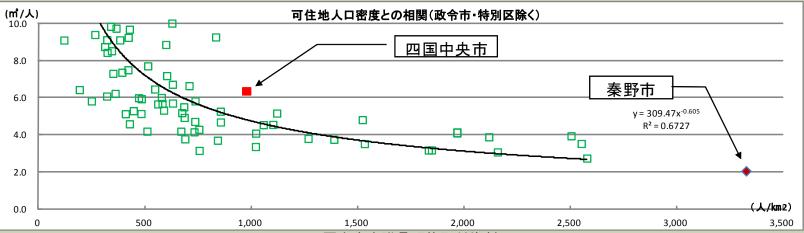
■ 新市建設計画を着実に推進し、ハコモノ削減を!(でも、秦野市では昭和の大合併から 60年経ちますが、いまだに「町の方ばかり」なんて声が出ることも・・・)

# 参考までに・・・ -四国地方の自治体の状況-









# 公共施設更新 施設 問 題 の対応

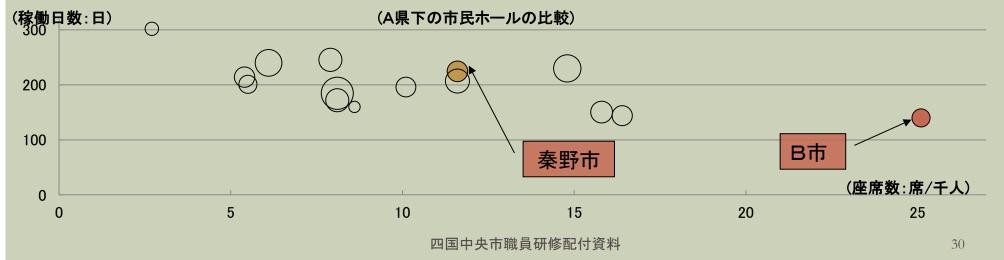
# 第二部



### 時限バクダンの爆発を防ぐために -こんな事例がありました-



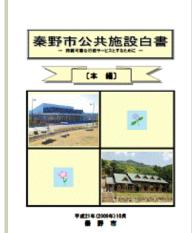
- 「公共施設更新問題は、自治体財政が抱える時限バクダンです!」(南学東洋大学客員教授)
- 更新問題は、どの自治体にも起こります。<u>できるだけ早く対策に手をつけなければ、市民に</u> も行政にも大きな痛みを与えます。
- 例えば、A県B市で起こった更新問題に関連する事例です。この市は企業城下町で、リーマンショック後の法人税収大幅減に対応するため市民ホールの休止を発表しましたが、市民の反発を受けて撤回し、ホールの設備更新先送りや職員削減に加え、人勧以上の職員給与削減や議員報酬の削減で当面存続としました。しかし、次の選挙で市長は落選。現在は、自主事業によるコンサートも行われていません・・・
- もし、下図のような情報を、市民が白書などで前もって知っていたとしたら、違う結果に なっていたかもしれません。

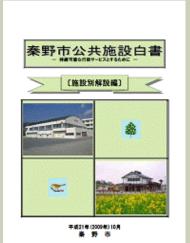


# 秦野市公共施設白書の作成

#### 一白書の特徴ー







- 道路や上下水道設備等を除くすべての公共施設(457施設 (うちハコモノ223施設)・土地面積168万㎡・建物面積 33万㎡、294棟)の現状をとらえ、課題とともに、所管の枠 を超えて横断的に比較
- 「本編」(204頁)と「施設別解説編」(292頁)の2部で構成
- 自前で作成した結果、画一的ではない本市独自の視点での 現状分析と課題を抽出
- 人件費までとらえた利用者一人当たりのコスト、 施設の稼働率、県下各市との比較など、公開の 機会が少なかった情報を掲載
- <u>行政に都合の悪い情報も、利用者に都合の悪</u> い情報も、包み隠さず全てをお見せしています。
- 平成25年5月、平成24年度改訂版を発行
- 常に新しい情報を発信し続け、庁内や市民の危機感が薄れないようにしなければならない。



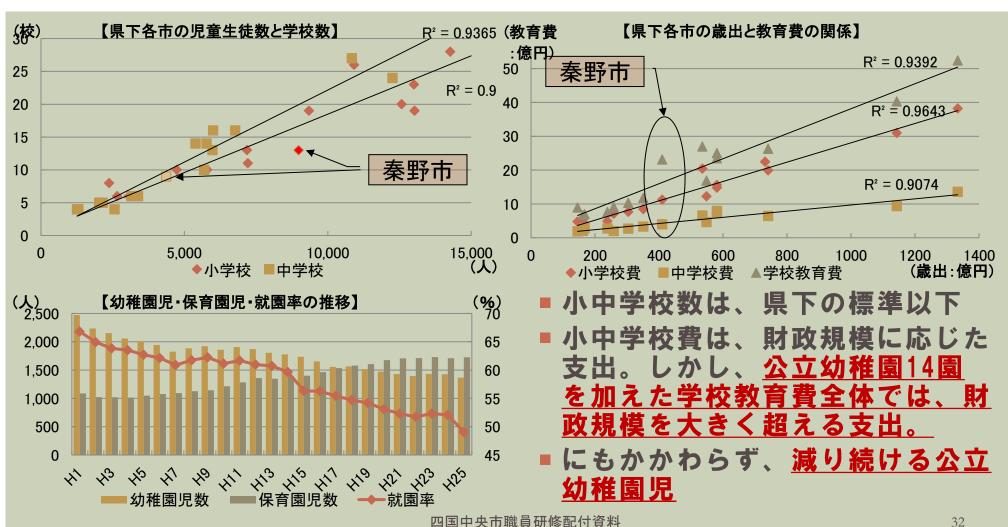


平成25年(2012年)3月 第 野 市

# 秦野市の公共施設の課題(白書より)



一量(ストック)から一



# 秦野市の公共施設の課題(白書より)



#### -経費(コスト)から①-

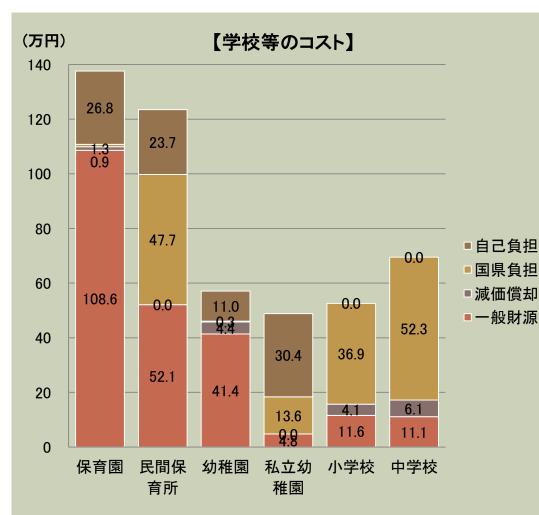
	コストが高い	施設	コストが低い施設			
順位	施設名	金額 (円/人·日)	アン 結果	施設名	金額 (円/人・日)	アン 結果
1	自然観察の森・緑水庵	2, 195	ı	鶴巻温泉弘法の里湯	Δ275	8
2	市民活動サポートセンター	2, 112	_	渋沢駅北口駐車場	Δ210	_
3	表丹沢野外活動センター	1, 532	11	片町駐車場	Δ60	_
4	里山ふれあいセンター	1, 401	19	秦野駅北口自転車駐車場	Δ25	_
5	はだのこども館	1, 229	20	交通公園	58	_
6	文化会館	1, 057	3	テクノスポーツ広場	59	_
7	くずはの家	1, 051	13	寺山スポーツ広場	85	_
8	渋沢児童館	1, 013	9	老人いこいの家ほりかわ荘	103	_
9	上公民館	924	5	老人いこいの家すずはり荘	109	_
10	谷戸児童館	830	9	老人いこいの家かわじ荘	110	_
11	図書館	819	1	田原ふるさと公園	110	12

- 管理運営費が使用料で賄えるのは4施設だけ(H19)だが、どれも公設公営である必要性は薄い施設
- 多くの自治体にある<u>市民ホール、図書館は、市民が考える優先的に維持すべき施設の上位だが、コストも高い。</u>

# 秦野市の公共施設の課題(白書より)



-経費(コスト)から②-



#### 学校等の年間コスト

- 保育園 公138万円/人(うち保育料25万円) 民124万円/人(うち保育料24万円)
- 幼稚園 公57万円/人(うち保育料11万円) 民49万円/人(うち保育料30万円)
- 小学校53万円/人
- 中学校70万円/人
- 5歳から幼稚園で中学校卒業まで 570(民幼)~ 620万円の税負担
- 1歳から保育園で中学校卒業まで 1,130(民保)~1,210万円の税負担
- 県立高校3年間を加えれば、一人の子どもに900万円~1,500万円の税金が必要に

#### 秦野市の公共施設の課題(白書より) -利用状況(サービス)から①-

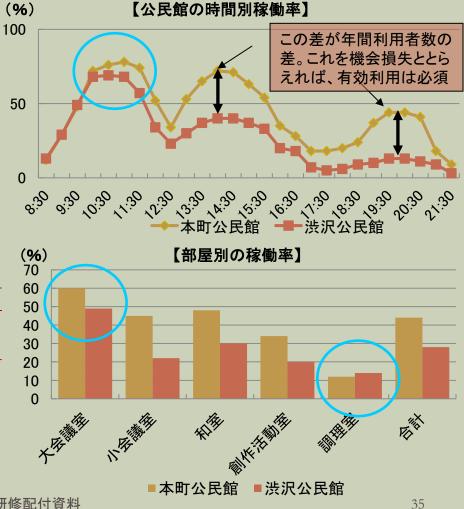


館名	利用者数	稼働率
本町公民館	80,695人	44%
渋沢公民館	29, 718人	28%

渋沢公民館は、統廃合の候補か? 公民館が足りないという声は多いが、なぜ? 稼働状況を詳細に見ると・・・

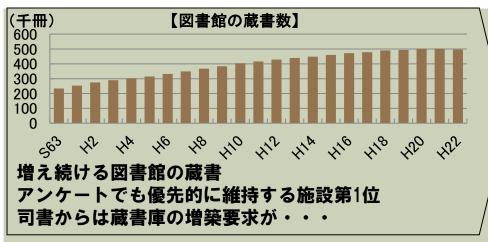
- ピーク時間の利用状況は、利用者が多くても少なくて もほぼ同じ。絶対値の比較だけでは、判断を誤る。
- 利用者が使用したい時間や部屋は、ほぼ同じ。<u>これが</u>施設の不足感を生む。大会議室の分割など、<u>工夫次第</u>で不足感は緩和できる。
- 一律に同じような部屋を設けるが、<u>稼働率の低い部屋</u> は同じ。 このまま「もんだ族」【注】の発想のままで いいのか?

注:「もんだ族」とは、「○○とはそういうもんだ」という発想から抜け出せない公務員のことを言います。 そして、最近現れはじめた「なんだ族」、計画実行に対し「ここは○○なんだ」と抵抗します。

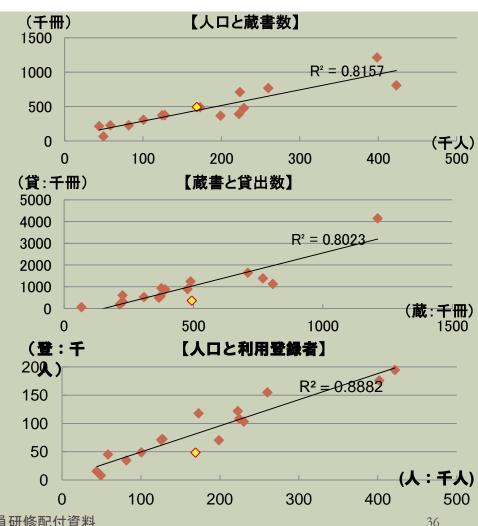


#### 秦野市の公共施設の課題(白書より) ー利用状況(サービス)から②-





- 蔵書は人口と比べても少なくはない。しかし、貸 出数は、蔵書数に応じた数ではない。
- 理由は、人口に応じた利用登録者がいないため。 現に貸出数は、利用登録者に見合った数にある。
- 原因は、秦野市の図書館が、駅からの徒歩圏にな い場所にあることでは・・・
- 市民が高齢化していくのに、このまま蔵書の充実 を図っても、登録者は増えない(≒蔵書が活用さ れない)のでは?
- 考えるべきは、蔵書庫の建設よりも分館機能の充 実や配本サービスの充実では?



#### 秦野市の公共施設の課題(白書より) -利用状況(サービス)から③-



■その他

行動

■発達・性格

■学校生活

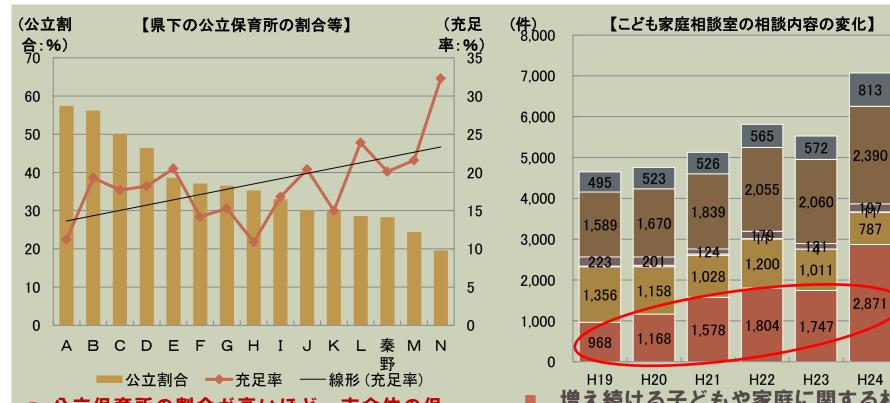
■非行•家庭

■不登校・引き

内暴力

こもり

■養育・虐待



■ <u>公立保育所の割合が高いほど、市全体の保</u> 育所定数を増やせない傾向があるのでは?

公設公営にこだわることにより、サービス 低下を招いているのでは? ■ 増え続ける子どもや家庭に関する相談。中でも養育・虐待に関する相談が急増。減らすどころか増やさなければならない大事な機能

■ H25にようやく解決。その理由は・・・

# 公共施設白書のまとめ



ー 白書とは何であったか・・・ ー

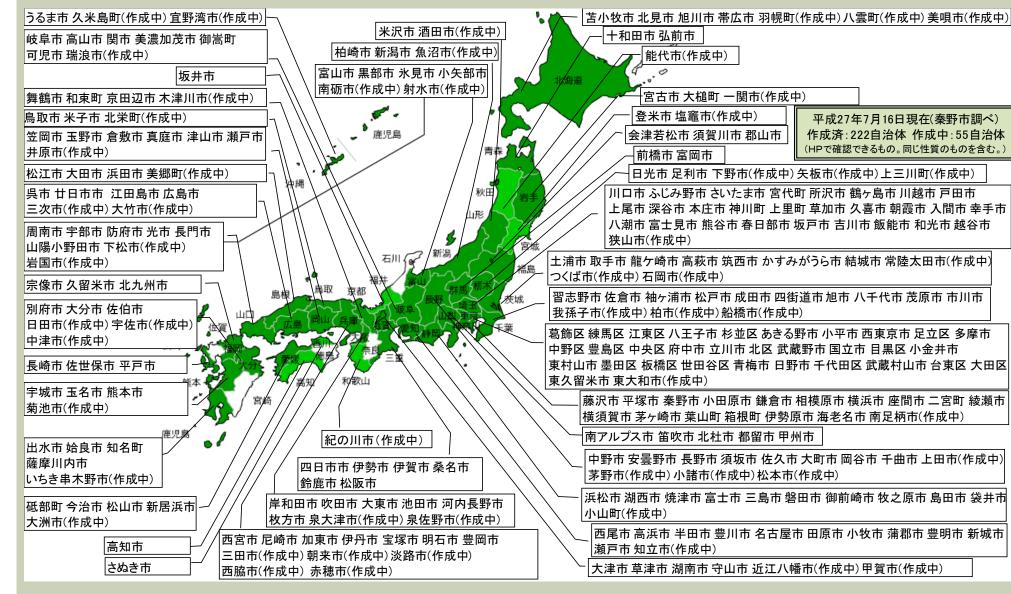
職員が漠然と気がついていたこと、 多くの市民が知らなかったこと、

これらを白日の下にさらけ出してしまう公共施設白書は、



嫌なものばかり出てきますが、最後には<u>「希望」</u>が出てくるはず。 その「希望」 をかなえることができるのは・・・第三部へ続く

#### パンドラの箱を開けた勇気ある自治体は・・ 参考:白書作成自治体



# 更新問題を解決するため 方針と計画を創ろう

# 第三部

# 白書公表に続き、方針・計画の検討開始

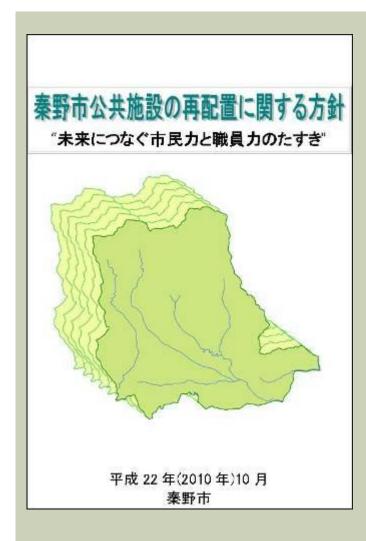


- 白書作成を目標にしないでください。そこで止まってしまい、将来の危機を知らせるだけで対策を行わないという無責任な状態になってしまいます。白書は過程です。作ったらすぐに、次のステップに進む必要があります。
- 白書公表の2月後の平成21年12月、専門家8名で組織する検討委員会(委員長:根本祐二東洋大学経済学部教授)を設置し、方針と計画の検討開始
- 委員会のポリシーは、「すべてをオープンに」、「将来の秦野市民に対して責任 ある議論を」
- ■計画に記載した「現状と課題」と、施設 白書に記載されている「現状と課題」は ほぼ同じ。計画の内容は、この課題を解 決するためのものになっています。秦野 市の目標が「白書作成」ではなく、計画 の策定であったことの現れです。

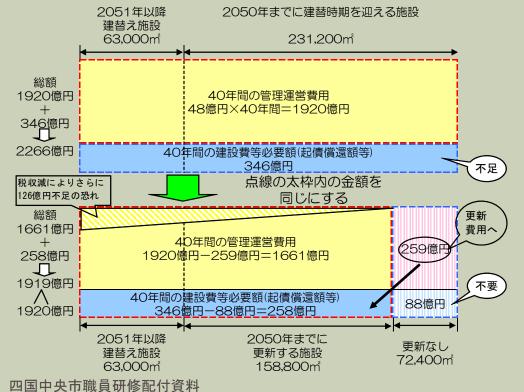
公共施設白書 【現状と課題】 方針で目標設定 計画で課題解決 床面積の抑制・削減 管理運営費の削減 優先施設更新 予防保全等の財源確保

# H22.10 まず、再配置の方針を作りました





- 検討委員会からの提言「ハコに頼らない新しい公共サービスを!」 (H22.6)をほぼ踏襲
- 副題「未来につなぐ市民力と職員力のたすき」
- 「駅伝のたすき」(未来に引き継ぐ)と「たすきがけ」(市民と 行政が力を合わせる)の二つの意味を込めました。



# 再配置に関する4つの方針 方針1 基本方針



- ① 原則として、<u>新規の公共施設(ハコモノ)は建設しない。</u> 建設する場合は、更新予定施設の更新を同面積(コスト) だけ取りやめる。
- ② 現在ある公共施設(ハコモノ)の更新は、できる限り機能 を維持する方策を講じながら、<u>優先順位を付けたうえで大</u> 幅に圧縮する。
- ③ <u>優先度の低い公共施設(ハコモノ)は、すべて統廃合の対象</u>とし、跡地は賃貸、売却によって、優先する施設整備のために充てる。
- 4 公共施設(ハコモノ)は、一元的なマネジメントを行う。

# 再配置に関する4つの方針 方針2 施設更新の優先度



優先度	施設の機能
最優先	義務教育
	子育て支援
	行政事務スペース
優先	財源の裏づけを得 たうえで、アンケート 結果などの <u>客観的</u> 評価に基づき決定
その他	上記以外

- ■施設機能更新の優先順位 は、左表のとおり。
- ■優先するといっても、<u>ハ</u> コの維持を優先するので はありません。機能の維 持を優先するという意味 です。

# 再配置に関する4つの方針 方針3 数値目標



- 40年かけて72, 400㎡、更新の対象となる施設面積の約31%を減らし、346 億円の財源不足を解消
- 最初の10年では、わずか0.6%の削減。これだけ<u>余裕をもてるのは、取組みが早いからこそ</u>。

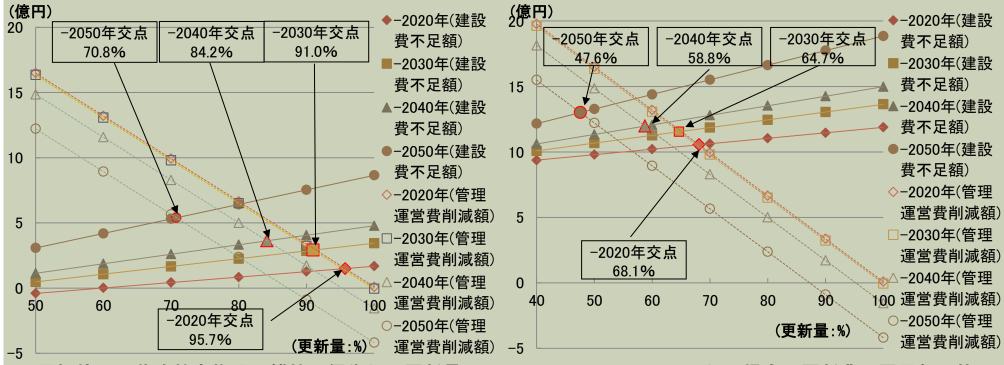
		2011–20	2021-30	2031-40	2041-50	合計
学校	面積	△900㎡	1,400 m <sup>2</sup>	15,200 m <sup>2</sup>	26,500 m <sup>2</sup>	42,200m²
	割合	△0.5%	0.9%	9.4%	16.5%	26.2%
その他	面積	2,200 m <sup>2</sup>	5,100m <sup>2</sup>	13,300 m <sup>2</sup>	9,600m <sup>2</sup>	30,200m <sup>2</sup>
	割合	3.2%	7.3%	19.0%	13.7%	43.2%
合 計	面積	1,300m <sup>2</sup>	6,500 m <sup>2</sup>	28,500m <sup>2</sup>	36,100m <sup>2</sup>	72,400m <sup>2</sup>
	割合	0.6%	2.8%	12.3%	15.6%	31.3%



41年目以降更新施設を加えると、ハコモノは現在の4分の3に縮小

## 目標値はどのように計算したのか?





- 目標値は、義務教育施設の維持を優先して更新量を90、80、70、60、50%とした場合の更新費用不足額と管理 運営費削減額(余剰額)からシミュレーション。両者の一致する点の更新量を目安とし、優先順位に従った実態を重ね合わせて決定
- 抽象的な行政論や理屈ではありません。<u>秦野市の方針は、計算結果です。</u>
- ハコモノ改革で道路・橋りょうの更新費用を賄えるかという試算結果(右図)は、「2050年には50%以上を削減」=「義務教育の必要量維持不可能」
- このことが意味するのは、インフラ更新問題に対応するためには、<u>土木工事は無駄の象徴、後回しのような感覚を捨て、医療や介護、子育で支援と同格ととらえる</u>歳出優先順位の大転換が必要ということでは。

### 31%削減でも、厳しい現実をご覧ください。

#### 一目標値と既存施設の面積の比較一

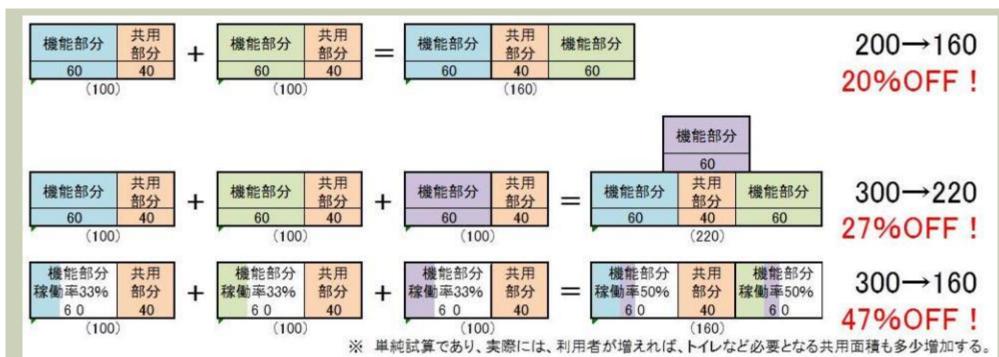
順位(得点)※1	施設名	床面積(m²)	1位からの累 計面積(㎡)	目標と累計面 積の差(㎡)※2
1 (2900)	図書館	3,728	3,728	35,972
<b>2</b> (2183)	総合体育館	12,297%3		
3 (1880)	文化会館	8,250	11,978	27,722
4 (1859)	中央運動公園	120	12,098	27,602
5 (1732)	公民館	7,098%4	19,196	20,504
6 (1128)	保健福祉センター	8,677%3		
7(986)	おおね公園	<b>1,951</b> %5	21,147	18,553
対象外※6	本庁舎等	15,140	36,278	3,413
対象外※6	こども園	5,593	41,871	△2,171

- ※1 過去3回行ったWebアンケートで市民から「優先的に維持すべき施設」 として回答のあった施設を点数化したもの。
- ※2 2050年に残すことができる義務教育施設以外の床面積39,700㎡との差
- ※3 2051年以降建替え
- ※4 2051年以降建替え分を除く。
- ※5 鉄骨造のため、築45年で建替え
- ※6 アンケートの対象施設には含めていないが、義務教育とともに機能維持の最優先と方針に定めた「子育て支援」と「行政事務スペース」に関わる施設

- 小中学校以外で残せる のは39,700㎡
- 市民のニーズが高い全 市的利用をしている図 書館、文化会館、公民 館、温水プールに、機 能を維持しなければな らない庁舎で36,200㎡
- 子育で支援も最優先で 維持ですが、こども園 を加えれば面積オー バー。なのに、2051年 以降も大型施設の更新 を控え…
- <u>しかし、これが「公共</u> <u>施設更新問題」の現実</u> です。

#### 機能が3割減ってもいいわけではない





- 一般的に建物の床面積の4割は共用部分といわれます。また、利用時間/開館時間(稼働率)は、20~ 50%[秦野市実績]
- 共用部分を減らすことにより、機能を維持するために必要な床面積を維持することができる。床面積 を減らしながら機能維持するためには、聖域なき複合化を行うことが最有効手段。
- 今までより10分多く歩くかもしれない、一駅隣に行かなければいけなくなるかもしれない。でも、 少し不便になることを少し我慢してもらえれば、より多くの機能を残すことができるはず。
- それでも近くの施設が必要ならば、自治会館などの民間建物の活用で機能を補うこともできるはず。

# 再配置に関する4つの方針 方針4 再配置の視点



5つの視点で再配置を進めます。

# 「備えあれば憂いなし」

視点1 将来を見据えた 施設配置を進め ます

キーワード 「施設と機能の 分離」

#### 「三人寄れ ば文殊の知 恵」

視点2 市民の力、地域 の力による再配 置を進めます

キーワード 積極的な「施設 情報の発信」

# 「三方一両得」

多機能化等によるサービス向上 と戦略的経営を 進めます

視点3

キーワード 「複合化」によ る「共用面積削 減」

# 「無い袖は振れぬ」

視点4 効率的・効果的 な管理運営を進 めます

キーワード 「公民連携」と 適切な「マネジ メント」

# 「転ばぬ先の杖」

視点5 計画的な施設整 備を進めます

キーワード 「スケルトン方 式」による建替 えなど

# 視察のメッカ秦野市から見た二大失敗例ーいろいろとご意見はあると思いますが一



#### その1 「総量を減らさずに長寿命化や長期修繕計画に頼る。」

- ・公共施設のライフサイクルコストの大半を占めるのは、ランニングコスト
- ・総量を維持したままでは、ランニングコストは減らない。
- ・長寿命化でも多くの予算が必要になる。財源の当てはあるのか。
- ・これができるのは、「財政力が高い」「人口密度が高い(ハコモノが少ない)」「区域が狭い(インフラの負担が少ない)」という条件を満たすほんの一部の自治体のみ。

#### その2 「施設評価に頼って総量を減らそうとする。」

- ・公共施設はどれも大切。大切だからこそ、税金を使って建設・運営
- ・評価の客観的な基準は何か。声の大きい者の勝ちとなり、不公平感が生まれる危険性 がある。
- ・財政状況などから残せる施設量を計算してみてください。現実は、そう甘くはありません。

# H23.3 方針に基づき計画を創りました



- 向こう40年間を10年ずつに区切り、第1ステージ~第4ステージ
- 第1ステージでは、向こう40年
- 現在公表しているのは、斜体字 部分

基本方針 2011-2050

第1期基本計画 2011-2020

第2期基本計画 2021-2030

第3期基本計画 2031-2040

第4期基本計画 2041-2050

前期実行プラン 2011-2015

後期実行プラン 2016-2020

シンボル事業① 「義務教育施設と 地域施設の複合 化」

シンボル事業② 「公共的機関の ネットワーク活用! シンボル事業③

「小規模地域施設 の移譲と開放」

シンボル事業(4) 「公民連携による サービス充実/

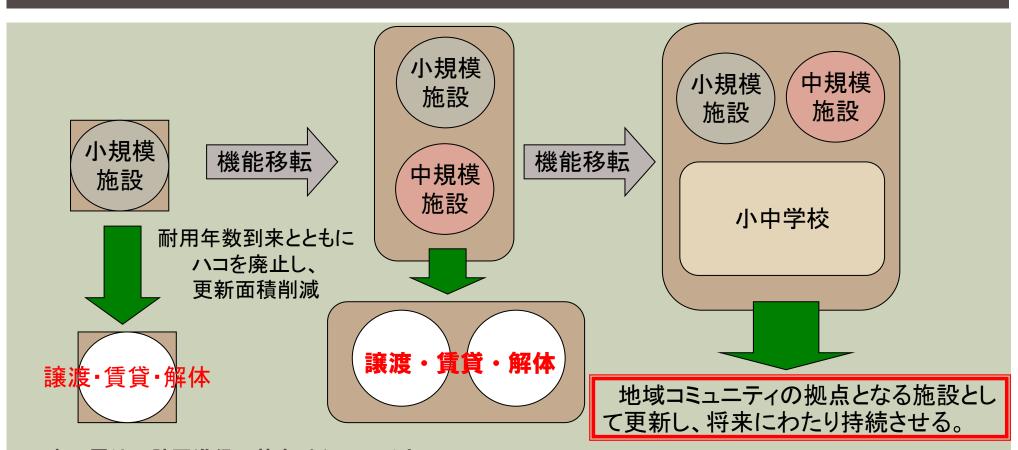
総合計画

公共施 設再配 置計画

行革推 進プラ

### 計画の概要を紹介します①





- 上の図は、計画進行の基本パターンです。
- 計画が進むことにより、ハコと機能を分離し、小中学校を中心とした地域コミュニティの拠点が出来 上がっていくことを表しています。

### 計画の概要を紹介します②





- 取り組みが早い からこそ、現行 の小学校区を活 かした(統廃合 をしない)コ ミュニティの形 成が可能

■ <u>秦野市は、昭和の大合併以前の旧町村を基にした地区割と学区を60年近く維持。人口2,400</u> 人の地区も維持できるのは、平成の大合併をした自治体のヒントになるかも・・・

#### シンボル事業とは・・・



より安い税の負担(Money)で、より高いサービス(Value)を実現し、「公共施設の再配置」は、一概にサービスの低下につながるものではないことを市民にアピールするため、前期実行プランの5年間に重点的に取り組む事業です。

① 義務教育施設と 地域施設の複合化

② 公共的機関のネットワーク活用

- ③ 小規模地域施設の 移譲と開放
- ④ 公民連携によるサービス充実

民間の知恵と力を借り て中学校体育館等と隣接 する公民館を複合化し、 床面積の効率的利用を図 るとともに、サービスを 拡充

郵便局を保健福祉セン ター内に誘致し、証明書 発行業務を委託 児童館や老人いこいの 家などの小規模な施設を 地域に移譲するととも に、自治会館をサークル 活動等に開放するように 誘導し、より身近な場所 で公共施設の機能を補完

知的障害者用施設や一部の幼稚園を民営化し、 最小の投資でサービス拡充

#### 営利法人とのPPP

営利法人とのPPP

住民とのPPP

非営利法人とのPPP

■ <u>策定当時、公民連携を特に意識して立案したものではないが、公民連携を重視する</u> 結果に。このことが示唆するものは・・・

#### H23.4~ 計画を推進しています



- 平成23年4月から「政策部公共施設再配置推進課」に衣更えし、2名増員(1名欠員)。
- 平成23年6月副市長が総括責任者となる公共施設再配置計画推進会議設置
- 推進会議に<u>4つのプロジェクトチーム</u>(PT:リーダー・政策部長、構成員・関係部長)と<u>6</u>つのワーキンググループ(WG:リーダー・公共施設再配置推進課長、構成員・関係課等の職員)を設置。延べ50人以上の職員がメンバーとなり、計画を進めています。
- でも・・・

#### 公共施設再配置計画推進会議

【総括責任者:政策部担任副市長】

#### 本部会

【両副市長・教育長・政策部長・市長室長・財務部長】

- シンボル事業① 推進PT
- シンボル事業② 推進PT
- シンボル事業③ 推進PT
- | シンボル事業④ | | 推進PT

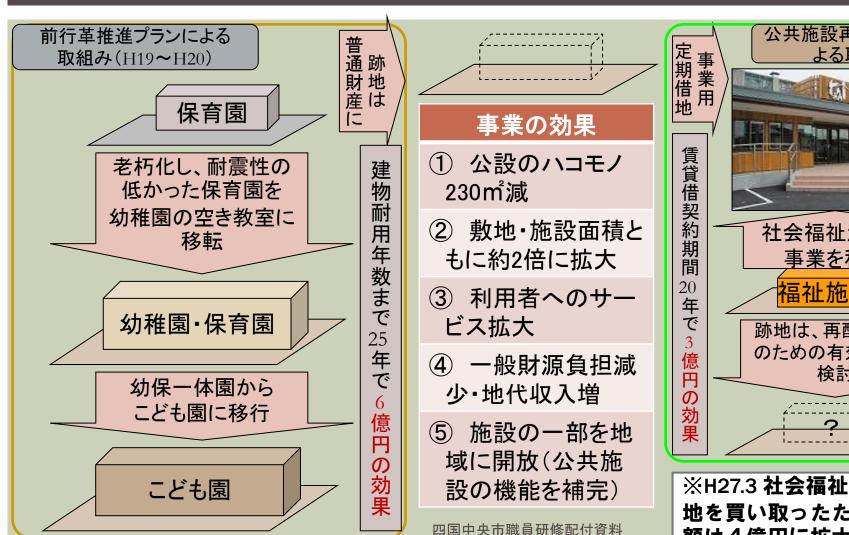
左のほか 随時設置

- **シンボル事業①** 調整WG
- シンボル事業② 調整WG
- シンボル事業**③** 調整WG
- シンボル事業**④** 調整WG
- 「ヒト・モノ・ カネ」 調整WG

施設保全調整WG

### H24.4 シンボル事業④が完成 ー障害者福祉施設の民営化ー





公共施設再配置計画に よる取組み 社会福祉法人に 事業を移行 福祉施設 跡地は、再配置計画 のための有効活用を 検討

※H27.3 社会福祉法人が土 地を買い取ったため、効果 額は4億円に拡大。

# H24.10 シンボル事業の二つ目が完成

#### -保健福祉センターへの郵便局誘致-







- 地方自治法に基づく行政財産の貸付制度を採用 (普通建物賃貸借)。正当な理由なく3年ごとの更 新は拒めない。⇒営業権の担保
- 貸付面積約100㎡、賃料170万円+駐車場使用料30万円=200万円/年
- 住民票等の交付業務は、168円/件の委託料支払い。(連絡所は200円/件のコストがかる)

- 賃貸料は、基金に積立て
- 住民票等交付業務が公務員以外で行えるのは郵 便局員だけ(全国で600以上の郵便局が交付業務 を行っているが、公共施設に新規開局して実施 は、珍しいとのこと。)
- 誰もが使いやすい郵便局に。成果を検証し、2km 圏の連絡所ネットワークを安価で補完⇒高齢化 社会が進む中で、徒歩圏に連絡所が理想⇒郵便 局活用

### 新たなPPPへの挑戦①



#### シンボル事業①「義務教育施設と地域施設の複合化」



#### 【複合化する機能】

- i義務教育施設
  - (体育館・プール・武道場・特別教室)
- ii 生涯学習施設
  - (実習室機能・集合室機能)
- iii 消防施設(分署機能)
- iv事業者提案施設

(生涯学習)健康づくり・飲食・物販)

#### 【構造及び延べ床面積】

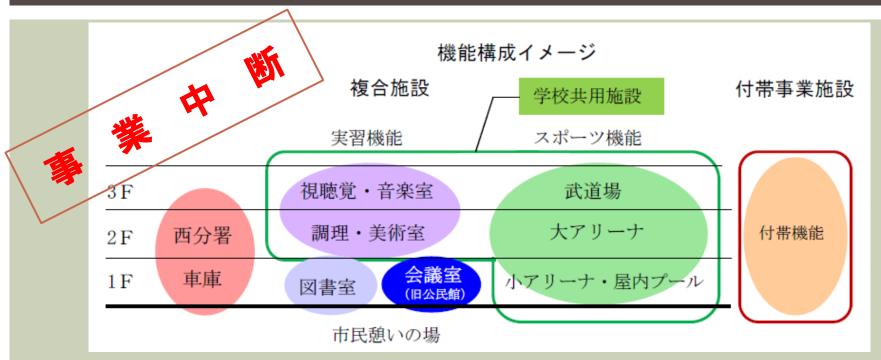
RC造3階建て・6,600㎡程度を想定

※国土交通省による「平成26年度都市 再興のためのPRE活用検討委託調査」 に選定。調査業務(要求水準等作成及 び事業者募集)は、全額国庫負担により 実施

### 新たなPPPへの挑戦②



#### シンボル事業①「義務教育施設と地域施設の複合化」



- ☆ 学校共用施設については、義務教育活動等の学校利用を最優先とし、空き時間と場所を市民の 自主的な生涯学習活動、市指定事業等に活用
- ☆ 施設の空き時間や敷地の一部を活用した付帯事業(民間収益施設)の提案も可能 ⇒収益を市に還元することによるライフサイクルコスト低減効果を期待
- ☆ <u>複数の施設を合わせるのは、ただの「合築」。スペースと時間を異なる利用主体がシェアし、効率</u>的利用と相乗効果を生み出すのが「複合化」

# これも公民連携による公共施設のマネジメント①



#### 一庁舎敷地内へのコンビニ誘致ー

- 秦野市役所の敷地内には、コンビニが建っています。(独立店舗が敷地内に建ったのは、全国で初めて(H26.12愛媛県新居浜市が2例目を実現)。24時間営業を担保)。建設に当たり、税は投入していない(事業用定期借地で出店者が建設)。総額○.○億円の賃料収入は、庁舎の維持補修に充当
- この店では、<u>図書館の図書返却受付、市刊行物や文化会館公演チケットの販</u>売、住民票の受取サービスなどを24時間年中無休で実施
- これも立派な「公民連携 (PPP)による公共施設のマネジメント」



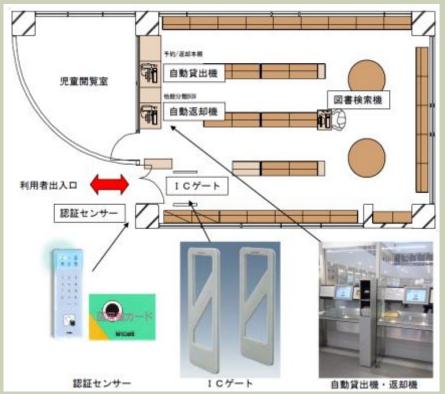


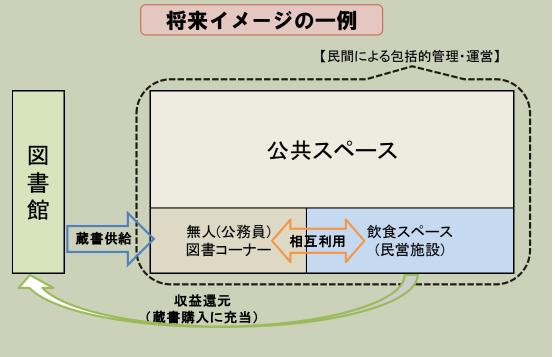
四国中央市職員研修配付資料

# これも公民連携による公共施設のマネジメント②



- 図書の無人貸出サービス「スマートライブラリー」実証実験-
- 平成27年2月~平成29年3月までの間、公民館図書室の貸出業務を ICタグの活用により無人化し、利用データや課題を抽出(図書館振興財団助成事業・図書館流通センターとの共同事業)
- 将来的には、無公務員による貸出サービスを商業ビルの中などで実施することを目指す





# 市民への浸透度・理解度は?

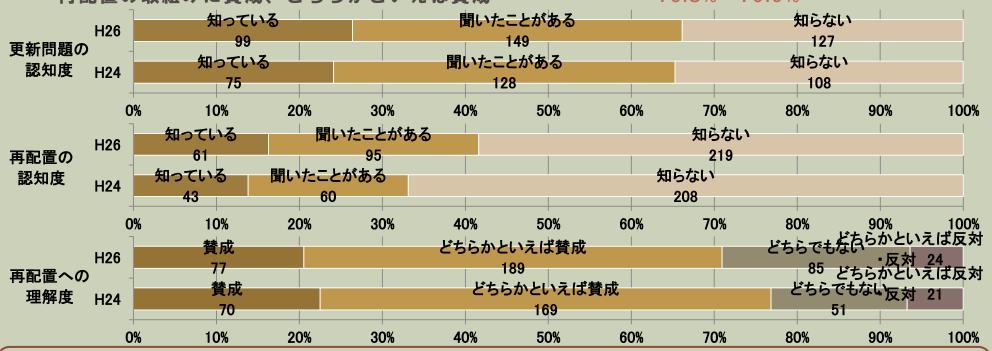


- 市民への浸透度・理解度を知るためアンケート調査実施(H24.12/H26.12)
- 公共施設更新(老朽化)問題を知っている、聞いたことがある 65.3%⇒66.1%
- 再配置を進めていることを知ってる、聞いたことがある

33.1%⇒41.6%

■ 再配置の取組みに賛成、どちらかといえば賛成

**76.8%** ⇒ **70.9**%



**有権者が、今までどおりに、近くの○○センターを安い料金で使用して、週1回友達とサークル活動を行えることを重視した選択をしたとしても、それは有権者の結果責任です。しかし、責任を負うのは、将来の市民であることに気づいてもらわなければなりません。それが私たち現在の行政マンの最も大切な仕事です。** 

### 計画推進と公民連携を阻むもの



#### 「もんだ族・なんだ族」

「○○とはこういうもんだ」、「ここは○○のための施設なんだ」と抵抗

#### 「何かあったらどうする」

何もしなければ何も起こらない。でも、何もしなければ何も得られない。

#### 「お上の意識」

土地・建物を貸してやる んだ、肝心なことは役所 が決めるんだというよう な上から目線

#### 「過剰な口出し」

・私たちは行政のプロだが マーケットは素人。餅は 餅屋、目指すのはwin-win の関係。

#### <u>「未成熟な組織風土」</u>

・人が変わると合理的理由 なく考えが変わる。民間 ではありえない組織風土

#### <u>「武雄ショック」</u>

・本気にならない自治体に 民間は知恵もお金も出せ ない。これからは民間が 役所を選ぶ時代

#### 「一人称の反対派」

「私は」「私たちは」と 自分たちの権利ばかりを 主張。「私の子や孫に」 という二人称へ。

#### 「世代間ギャップ」

・組織の中でも、地域の中 でも、危機感を持つ若い 世代に決定権はない。

味こ 道ま 楽で ですかと、 聞公 か共 れ施 ま設 すの 更新問題 の取組みは、 あなたの趣

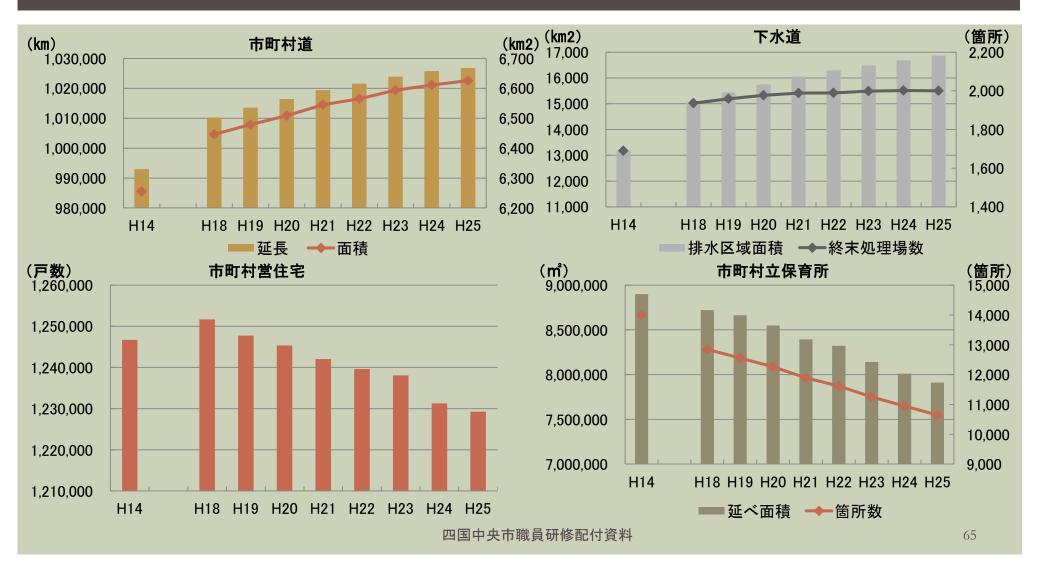
# 特別付錄②

この項目は、各自治体のホームページ及び公共施設状況調査(総務省)の データを基に作成しています。また、地方自治体公民連携研究財団客員研 究員としての筆者の私見であり、秦野市の見解を示すものではありません ので、筆者の承諾なく内容を転用することはご遠慮ください。

# そして全ての人が危機感を持つために①



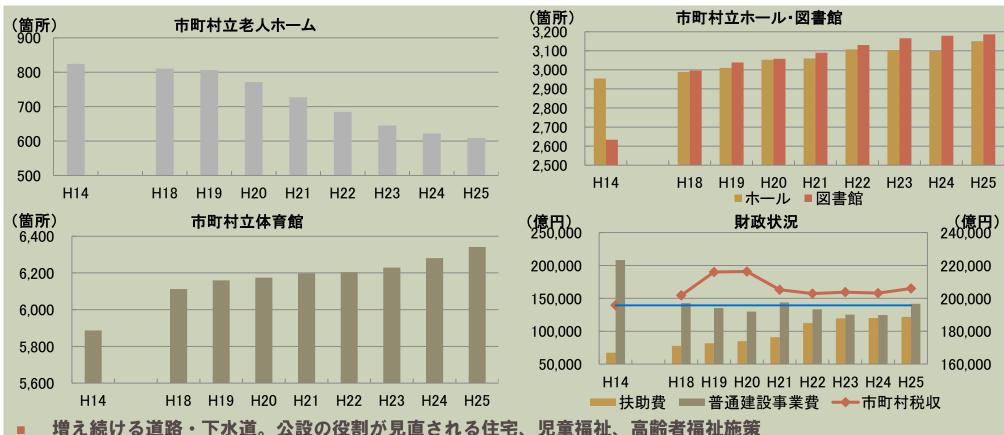




# そして全ての人が危機感を持つために②

# A

## 一地方財政白書に見る公共施設の推移一

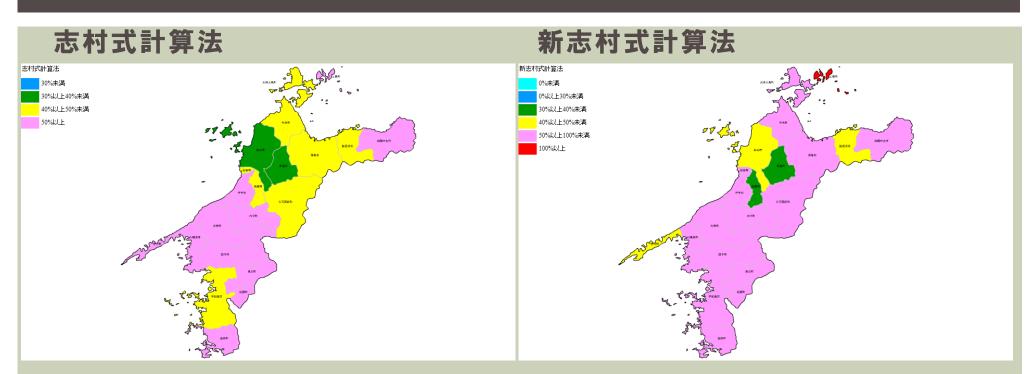


- 減らないどころか増える文化・体育施設。平成の大合併が果たす役割は?
- 増え続ける扶助費と減り続ける普通建設事業費。地方税収は、三位一体改革前の水準に落ち込み、このままで今後の更新需要を賄えるのか?

# そして全ての人が危機感を持つために③



ー四国中央市だけの問題ではない!-



- 新計算法で症状が重くなる理由:借金が多い・貯金が少ない・扶助費の負担が重いなど
- 新計算法で症状が軽くなる理由:借金が少ない・貯金が多いなど
- 新計算法で削減目標が100%を超える自治体:75自治体(H24:81自治体 H23:90自治体)
- 新計算法で削減目標がマイナスになる自治体: 92自治体(H24:75自治体 H23:51自治体)

### そして全ての人が危機感を持つために4



- 愛媛県だけの問題ではない! -

#### 志村式計算法



#### 新志村式計算法



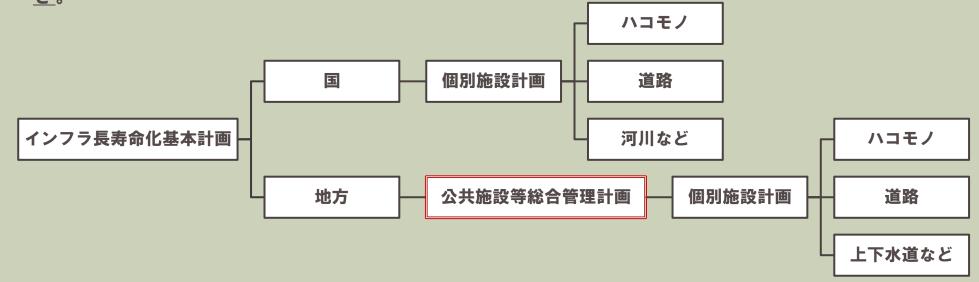
- 都道府県単位で集計すると、削減目標30%未満は、わずか8都府県(宮城、東京、神奈川、岩手、埼玉、大阪、福島、千葉)。30%以上40%未満でも、18府県だけ。残りは40.3~47.2%の削減「左図参照]
- ところが、ここに国庫支出金や公債費、基金残高などを加味すると、30%未満は東京、宮城、岩手、30%以上40%未満も福島、埼玉、茨城、栃木、千葉、三重、岐阜だけ。残りは41.4~78.4%の削減[右図参照]
- もしこれが現実だとしたら、基礎自治体として存続できますか?

# 公共施設等総合管理計画策定のポイント



- 指針で示す記載事項のとおりに策定すれば、難しい作業ではない。これを作らなければ、起債 に制限も。
- 計画の一番大事なポイントは、<u>将来にわたり維持できる総量の試算と財源の調達方法</u>。扶助費は、ブラックホール。財源は、<u>当てにできない一般財源では絵に描いた餅</u>。今までできなかったことが、急にできるわけがない。何かで生み出す工夫を。
- <u>総務省の更新費用試算ソフトは、事業費ベースでの将来予測</u>(すべての更新ができるわけがないということを知るためのもの)。実際は、<u>起債償還のシミュレーションや国庫補助財源などを加味しなければ、支出ベースでの計画は立てられない。</u>

■ <u>長寿命化は、それ以外に負担軽減策がない施設(橋など統廃合の余地が少ない施設)に限るべき。</u>



#### 国が何とかしてくれる?



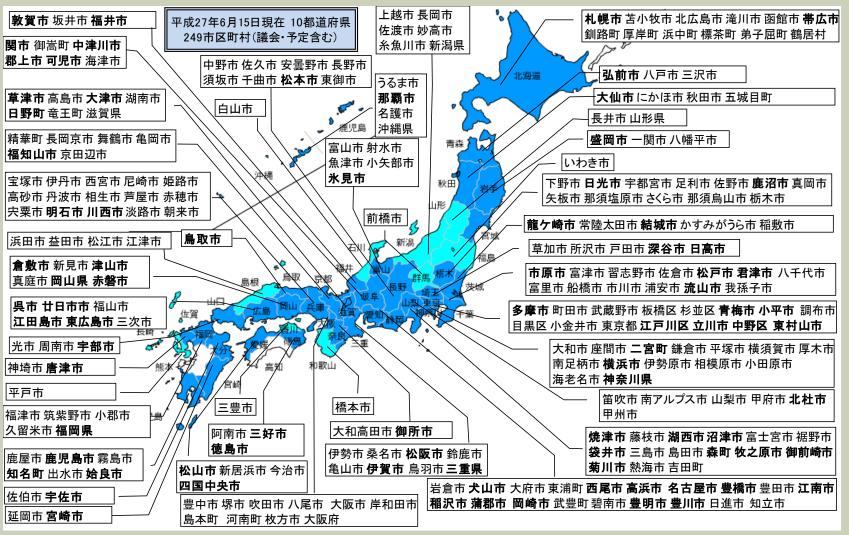
- 年収550万円で借金が1億円ある親が、さらに400万円の借金を続けながら、あなた に仕送りをしてくれます。あなたは、このまま仕送りを続けてもらいますか?
- 消費税は10%になる予定ですが、○○県は、5%のままですか?、「国が何とかしてくれる」、「補助金や交付税で助けてくれる」と思っている自治体も多いかもしれません。でも、国が出すお金は、どこかの誰かが払ってくれているわけではありません。このお金を払うのは、あなたとあなたの子供たち、そして孫たちです。
- 建設費用は、LCC(ライフサイクルコスト)のごく一部。下図は、秦野市のある施設のLCCとその財源です。これでも「補助金は使わなければ損」と言えますか。



- ダイオキシン対策などで1990年代に建設が集中したごみ焼却場は、一足先に更新時期の集中期を迎えようとしていますが、「平成25年度に国が確保できた交付金は、自治体要望の3分の2(H25.11.7朝日新聞)」。【報道後、補正予算で手当て】
- 住民が安心して暮らしていくことができる街を作るのは、基礎自治体である市町村の最も大切な仕事です。公共施設更新問題は、すぐそこに迫ってきています。まず住民とともに現実をよく知って、自らの力でできることを始めてください。

#### みんなで渡れば怖くないっ!

参考:視察来庁・講師派遣自治体



「自治体が持つ悩みは皆同じだ。なぜ秦野市はこんなに注目を集めるのか、他との違いは何だかわかるか? 『やる』か、『やらない』か、 ただそれだけの違いだ。」(by古谷義幸)

#### エピローグ



「福祉は大切」、「生涯学習は大切」だからと、ハコモノが求められ、「これは市民サービスの向上だ。先のことはなんとかなる」と、○○センターや△△館を建ててきました。 もちろん「福祉は大切」です。「生涯学習も大切」です。 「今まで以上に」、「今までどおりに」と言う気持ちもわかります。

でも、私たち現在の市民は、将来の市民に対して無責任であっていいはずはありません。 子や孫の世代に大きな負担を押し付けないために、大切な行政サービスを続けていくため、 今、私たちがしておくべきこと、考えておくべきことはなんでしょうか。

公共施設更新問題への取組みは、芽を出したばかりですが、 私には、育て方のアドバイスをすることだけしかできません。 その芽に水をあげ、大きな花を咲かせることができるのは、 今日お集まりの皆さま自身です。

秦野市は、公共施設更新問題に向き合う自治体を応援しています! いつでも気軽に、そして気兼ねなくお問い合わせください。

確かに今の市民のことを考えないと 市民から反対の声は出ませんか りの発想や前例踏襲主義)から抜け 私は、たとえ国や県の仕事であっ

時間をかけてやります。

まっています。

役所の考え方(縦割

ものと、そうでないものを振り分け

一公共施設の再配置に取り組むきっかけは何だったのでしょうか。 私はもともと小さな燃料商を営んでいて、カネの大切さが骨身に染みています。そんな私から見ると、(行政組織は)カネの使い方に無頓着過ぎます。秦野市の場合、施設の維持管理で毎年65億円が消えていましたが、職員はカネがどこからか湧いてくるとでも思っているのか、無頓着でした。これをまず変えないといけないと思いました。

古谷義幸

いのではと思うサー民設民営のほうがよ

やるより公設民営や

◎秦野市長

カネの使い方に無頓着過ぎ 公共施設は工夫次第で宝の山

夫する余地はまだまビスもあります。T

の皆さんに提示して 話し合う。その繰り 返しです。施設の複 合化などを提案して いて、反対の声は減 っています。私はむ しろ役所の中に問題 があると思っています。職員は自分たち す。職員は自分たち

かかり、誰かが負担しています。日

俗的な数字を示さないといけないと

でも無理はしません。必要な白書をまとめました。無駄は

施設は工夫次第で宝の山になる「都 施設は工夫次第で宝の山になる「都 施設は工夫次第で宝の山になる「都 を考えるべきです。 と思っています。 どうやったら市民に喜んでいただける かを考えるべきです。 役所の無駄を省けば、他の事業に カネを使え、新たなサービスの提供 につながります。公共施設にはデッ を考えるべきです。

#### ご静聴ありがとうございました。





うちの市長は、こんな方です。 週刊ダイヤモンド(2013.3.2号)に掲載されたインタビュー記事ですが、お 人柄やお考えがよくわかりますので、 お読みください。

秦野市の取組みは、全ての情報をHPで公開しています。機会がありましたらご覧ください。

http://www.city.hadano.kanagawa.jp/saihaichi/koukyousi setusaihaiti.html

《この資料をはじめ、本市の取組みに関する問い合わせ先》

秦野市政策部公共施設再配置推進課 課長(兼)課長代理 (兼)教育部教育総務課課長代理 [地方自治体公民連携研究財団客員研究員] 志村 高史

〒257-8501 神奈川県秦野市桜町一丁目3番2号 TEL:0463-82-5122(直通) Fax:0463-84-5235 koukyousisetu@city.hadano.kanagawa.jp

市民の利便性



俳優の大地康雄さんが企画・主演し、秦野市在住の山田大樹さんが監督を務めた映画「じんじん」。その続編「じんじんⅡ (仮称)」が秦野市を舞台に製作されることになりました。

#### 映画「じんじん」公式サイト

http://www.jinjin-movie.com/

伝統芸能を支える大道芸人立石銀三郎が、旅先で出会う人たちとつむぐ 愛と絆のストーリー。前作は、北海道剣淵町を舞台に、主人公のおかしくも ほろ苦い生き方と、親と子が絵本を通じて結び合う「愛の記憶」をテーマに 作成されました。公開から三年目の今も、スローシネマの形式で全国での 上映が続き、年内には観客数30万人を超える見込みです。

## 映画「じんじん」の続編が秦野市を舞台に!

#### 映画「じんじん2(仮称)」秦野市応援団を募集!

応援団員になるのに特別な資格や会費はありません。映画 づくりに全く縁がなかった方でも大丈夫です。活動は自由、市内 在住の有無も問いません。全国にいる"映画じんじん"のファン の方々の参加もお待ちしています。

#### 詳しくは、秦野市観光協会HPで御確認下さい。

http://www.kankou-hadano.org/hadano\_topics/topics\_2015/topics\_20150530.html

